

修学旅行へ向け 台湾文化を理解

浜坂高生が事前学習



生徒に台湾の歴史や文化などを説明する川口さん＝5日、新温泉町芦屋の浜坂高

浜坂高（新温泉町芦屋）は5日、今秋の修学旅行で台湾を訪れる1年生69人を対象に事前学習を行った。生徒たちは台湾の歴史や食文化などについて理解を深め、かの地へ思いをはせた。現地の高校と姉妹校提携するなど台湾との交流があ

る同校は、修学旅行の行き先を、これまでの沖縄から台湾に変更する。

この日は、鳥取市内で語学教室を主宰する台湾出身の川口斐斐さん（65）が講師を務め、台湾の面積が九州よりやや小さいことや、日本と1時間の時差があるこ

となどを説明。修学旅行が予定されている10月は「暑くもなく寒くもなく、一番良い季節」とした。

また、過去に日本が半世紀にわたって台湾を統治するなど歴史的なつながりが深いことや、中国語の簡単なあいさつも紹介した。

浜本七瀬さん（16）は「台湾の文化をよく知れて良かった。（姉妹校提携している）現地の高校生と交流するのが楽しみ」と話していた。（井上雅大）